

名広渉第 89 号
平成 28 年 12 月 26 日

沖縄防衛局長 中嶋 浩一郎 殿

名護市長 稲嶺 進



米国海兵隊 MV-22 オスプレイの墜落現場の原状回復について（要求）

平成 28 年 12 月 13 日に名護市安部集落前の海岸に墜落した米国海兵隊 MV-22 オスプレイについて残骸の回収作業を終了した旨の発表がありましたが、墜落現場周辺の海底には、未だ無数の残骸（※添付写真参照）が散乱しております。

現場周辺は住民生活に欠かせない場所であります。その現場に大破した機体の残骸が散乱し、破片によるケガなどの危険に住民がさらされるということは全くもって論外であり、到底許されるものではありません。

そもそも、墜落現場周辺の原状回復・安全確保は、事故を起こした米軍及び貴局の責任で速やかに行われるべきものであり、直ちに事態の改善に取り組むよう、下記の通り要求します。

1. MV-22 オスプレイの残骸を墜落現場周辺から直ちに回収し、安全を確保すること
2. 住民と調整したうえで作業計画・作業内容を決定すること
3. 住民に作業状況を逐一報告すること